

プレジデント

解明! 「結果を出す人」の脳の秘密

# PRESIDENT

毎月第2・第4月曜日発売 2005 7.18号

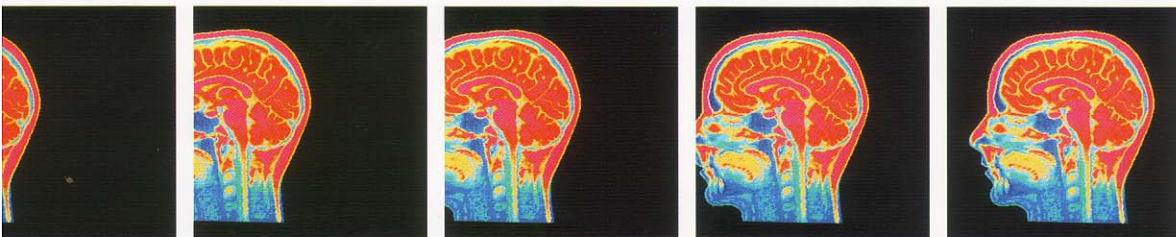
定価 550円

二〇〇五年七月八日 毎月一回 第一・第四月曜日発行  
第四二巻第四号 昭和三十八年五月八日 第三種郵便物認可

最新科学! 40歳を超えてから「頭はよくなる」

# 「脳力革命」

これが「出世する人」の脳の仕組みだ



←  
maximize  
your  
brainpower

神田昌典流 ダ・ヴィンチも実践! 「マインドマップ」の技術  
天才が駆使した最強の右脳活用ツール

齋藤孝流 潜在パワーをフル活用する「四字熟語」力

①自分の型を見つける ②それを4文字で表す ③自己暗示をかける……

「酒、セックス、病気」との不思議な関係



なるほど差がつく! 達人5人の「ヘッドワーク」

企画立案、交渉・商談、アポ取り、会議、ノルマ

# 会議

知識工房代表取締役社長  
山崎将志  
Masashi Yamazaki

## 生産性がみるみる向上！「板書力」四つの効果

### 「字を書くな、絵を描け！」

コンサルタントという職業柄、会議への参加を求められることが多いが、では私を会議に呼ぶといたいどんなメリッ  
トがあるのかを、複数のクライアントにリサーチしてみたことがある。

議論を整理してくれる、社員だけの会議より緊張感が出る等々、やや遠慮がちなコメントの後、ほとんどのクライアントが異口同音に言ったのが、「ホワイトボードに書くのがうまいから」であった。いささか拍子抜けしたのだが、実はこの「板書力」、会議を実りあるものにするうえで、極めて重要なスキルである。では、板書にはいったいどのような機能があるのだろうか。

まずは①記憶の外部化、すなわち備忘録としての機能だ。板書は議題の脱線、議論の繰り返し、堂々巡りといった、会議特有のトラブルを回避するのに役立つ。議題を板書しておくだけで、「今日の議題はここに書いてある通り、セグメントごとの担当者の割り振りでしたよね」などと、脱線の軌道修正が容易にできる。

もうひとつは、②言葉の定義の明確化。会議で使われている言葉を、会議のメンバー全員が同じ意味で使っているとは限らない。下図は、実際に私が参加したX社の会議でのエピソードだ。A氏とB氏が「ドラフト（草案）」について激しい応酬をしているのに、一向に議論が噛み合わない。そこで、両者にヒアリングし

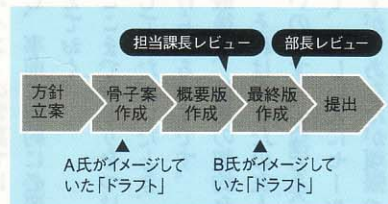
つつ提案書作成プロセスを板書してみると、なんと彼らは、まったく異なる書類のことを同じ「ドラフト」という言葉で呼んでいることがわかったのだ。このような備忘録、言葉の定義の明確化は板書の基礎機能にすぎない。板書には、さらに高次の機能がある。板書は記憶の外部化であると同時に思考の視覚化なのだ。そして、思考の視覚化に慣れる

と、③「抜け漏れ」の発見が容易にできるようになる。

たとえば下図で記したプロセスを横軸にしてマトリクスをつくり、各プロセスと担当者の交点にドットを打っていくと、それだけで仕事の重複や担当者の不在が一目瞭然になる。

また、プレスト（ブレインストーミング）の場合には、出された意見や発想を片っ端から板書していき、出尽くしたところで、これはCS（顧客満足）の議論、これは効率化の議論、コンプライアンスの議論という具合にグルーピングしていく。そうすることで、プレストの参加者は「自分たちがいったい何を論点としているか」を知ることができる。その結果、た

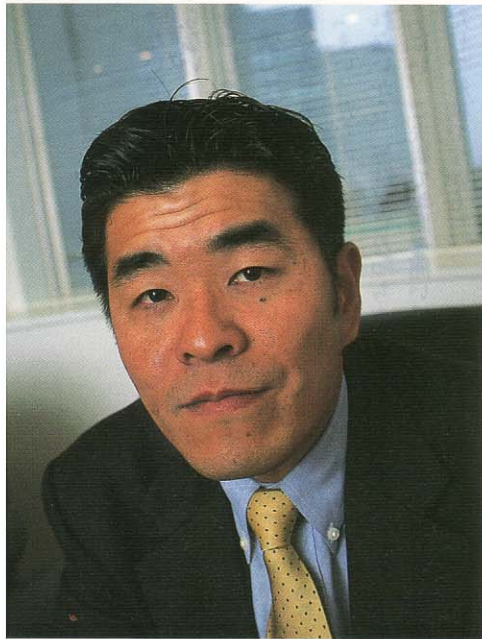
### X社の提案書作成プロセス



B氏の意見「ドラフト作成は、関連各部からいろんな意見を聞かねばならず、そのスケジューリングに手間取る」  
A氏の意見「ドラフトを作るのは、まず担当者の作業で、関連各部署に意見を聞くこと自体、おかし」

意見の食い違いは、「ドラフト」の意味が異なっていることが原因。プロセスの「可視化」により、仕事全体がどの作業を指すのか明確になり、論点を絞ることができる。

↓ meeting



Masashi Yamazaki

1971年、愛知県生まれ。東京大学経済学部卒。アクセントを経て、独立。人材、組織に関するコンサルティングを行う。主な著書に『eLearning——実践的スキルの習得技法』。

たとえば、「コスト」という論点は出なかったけれど、本当に議論しておく必要はないのか」というように、論点の深掘りと拡  
大が可能になる。④議論の深化である。  
さて、私が板書力に優れているとしたら、超多忙なマネジャー向けのレポート作成に憂き身をやつしてきたからだろう。A4一〇〇枚相当の内容を五分で理解してもらうには、パワーポイントで視覚化し、直感的な理解に訴えるしかない。  
ある会議の席上、部下がワードで作成した個条書きばかりのレポートを目にしたマネジャーが机を叩いて叫んだ。  
「字を書くな、絵を描け！」  
板書の要諦をみごとに凝縮させた、一  
言である。

P

構成＝山田清機 撮影＝鷹尾 丈